

小学校 3年 国語科

考える
想像する

×

話す・聞く
書く
読む

育成したい
国語力

複数の内容を関連付け、中心点を明確にして書く。
思い描いたこと、中心点が伝わるように情報を整理して書き、自らの考えを表す。

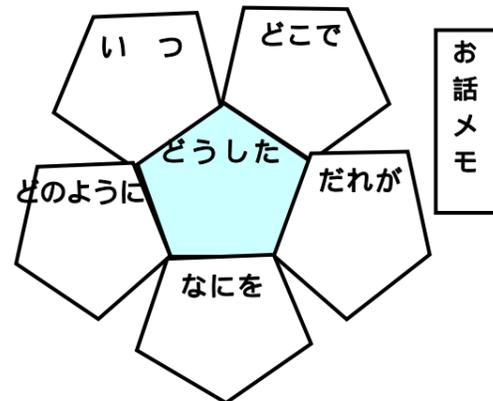
ワークシート

(動物たちについて)

(森の様子について)

気付いたことを書いて
(子どもたちについて)

ワークシート



おわり	中	はじめ

単元名

想ぞうを広げて

単元の流れ

第1時(本時)

・教科書の絵を見て、想像をふくらませながらお話メモを書く。

第2時

・メモを基にお話を書く。

第3時

・書き上がったお話を友達と読み合う。

本時の目標

絵を見て想像したことを関連付けて、お話メモを書く。(書く能力)

本時の流れ

導入

本単元の学習の流れを確認する。
本時のめあてを知る。

めあて：絵を見ながら、これからの森の中での様子を想像しよう。

展開

教科書の絵を見て、気付いたことをワークシートに書いて確かめる。

登場人物や森のようす、動物たちのことの中から、お話の中心にしたいことを見付ける。

お話メモ(ワークシート)を書く。

- ・「いつ」「だれが」「どこで」「何を」「どのように」「どうした」お話を想像する。
- ・「はじめ」「中」「おわり」の簡単なストーリーの展開を想像する。
- ・登場人物にどんなことが起こるのか、お話の中心を想像する。

お話メモを基に想像した内容をグループで話す。

まとめ

友達からのアドバイスをもらい、次時への見通しをもつ。

国語力育成の視点

教科書の一枚の絵の中には、たくさんの情報が詰まっています。

まず、この絵に描かれた子どもたちや、動物、森の木々などから一人一人がたくさんの情報を獲得し、メモに書き留めることができます。

文字に表すことで、気付きを意識化したり、気付いたことをつなぎ、想像を広げたりして、楽しくお話の世界を作り、考える力や想像する力を育成します。

想像を広げる過程では、ワークシート等を活用して、発想の仕方や話の展開の仕方などを確実に学習ができるようにします。

視点 ①

二人の子ども、動物たち、森など、一枚の絵に込められた情報を確かに読み取ったり、豊かに想像を広げたりします。音やにおい、風のような五感を使って感じることも書き出し、想像をふくらませることを楽しみます。

視点 ②

ワークシートを活用して、どのような出来事が起き、どのようにして解決するのか等を意識させることが大切です。